

第62回 道徳教育研究会のご案内

テーマ 「 道徳教育の充実をめざして 」

大野講師、河田講師は、京都教育者モラロジー研究会主催の研修会で2回講義をしていただき、大好評でした。今回は、それぞれ特別支援教育、国際協力の視点から体験に基づいたメッセージを届けていただきます。また藤田校長先生からは、昨年度に引き続いての講義で、学校と家庭が手を取り合う「共育の力」をテーマにお話をいただきます。奮ってご参加していただきますよう、よろしくお願いたします。

記

日時 令和7年8月23日(土) 13:00~17:00 (受付12:30より)

会場 公益財団法人モラロジー道徳教育財団 京都出張所 2Fホール
(京都市上京区扇町286-3 今出川通り寺町通り下る京極小学校東側)

参加費 無料

プログラム

13:00	開会	
13:15	講義Ⅰ	「特別支援教育を学んで」 ～「恩返し」の過程で知った新しい自分～
	講師	大野 圭梧 大阪教育大学大学院 院生
14:05	講義Ⅱ	「むずかしく考えない国際協力」 ～トーチでの学校づくり～
	講師	河田 理江 京都市立開晴小中学校 教諭
14:55	講評	
15:15	講義Ⅲ	「子どもの成長を支える“共育の力”」 ～学校と家庭が手を取り合うために～
	講師	藤田 知則 麗澤瑞浪中学高等学校 校長
16:25	グループ懇談、質疑応答	
17:00	閉会	

主催 公益財団法人モラロジー道徳教育財団

主管 京都府モラロジー協議会

後援 文部科学省 京都府教育委員会(申請中) 京都市教育委員会(申請中)

.....切り取らずにFAXをお願いいたします.....

第62回 道徳教育研究会 参加申込用紙

お名前 _____ 年代 20 30 40 50 60 70年代
(○で囲んでください。)

ご住所 _____ 連絡先 _____

勤務先 _____ ※いただきました情報はこの研究会に限定して使用させていただきます。

申込先・問合せ：実行委員長 坂田敏夫 FAX:075-491-3047 携帯:090-5096-9607
裏面もご覧ください

道徳教育研究会 趣旨

道徳教育研究会は、モラロジーを基礎とした知徳一体の教育理念に基づき道徳教育の充実と教師の資質の向上に資することを目的として、昭和38年に開始しました。

その趣旨は今も変わらず受け継がれています。教師一人ひとりが確かな教育力を身につけることを通して、「生きる力」を育む学校づくり、支え合い安心して暮らせる社会づくり、世界に貢献する力をもった品格ある国づくりに貢献することをめざしています。

公益財団法人モラロジー道徳教育財団とは・・・

モラロジー道徳教育財団は、道徳教育を推進する内閣府認定の公益財団法人です。

大正15年、創立、道徳科学（学術名モラロジー）の研究および倫理道徳の研究、道徳に基づく社会教育、学校教育、生涯教育を推進する教育団体です。法学博士廣池千九郎によって創立、研究・教育・出版事業等を展開、また全国500を超えるモラロジー事務所と共に、各地の教育委員会等の後援のもと、セミナーなどを開催し、生涯を通じて学びを深める「生涯教育」とともに、親から子へ、子から孫へと世代を重ねて道徳性を育む累代教育を提唱しています。

モラロジーって何ですか？

モラロジーとは、モラル（道徳）とロジー（学）からなる学術名で、「道徳科学」を意味します。一般に、道徳は、行為の形式や方法が強調されがちです。モラロジーでは行為はもちろん大切にしますが、それ以上に行為の基になる心づかい（心の在り方・考え方）を重視しています。

道徳の実行によって、日々の“心づかいと行い”を改善し、生きがいと喜びに満ちた人生を築き、一人ひとりが高い品性を培い、その心づかいが家庭や職場、社会、国家へ広まっていくことによって、真に心豊かで平和な世界の実現につながるものと考えています。

知徳一体の教育とは何ですか？

医療や情報、科学技術などの分野のように、知識が進めば進むほど、それらをいかすための高い道徳性が必要とされています。一方で、優しさ、勇気、愛情、正義感、責任感などの、一般によいとされる性質も、それを真に生かす知識がなければ、よい人間関係を育て、円満な社会を築くことはできません。

昭和38年に教育者研究会を始めたモラロジー研究所の廣池千英・第二代所長は、「教育とは、人間の心に仁愛の精神を植つけることである。この精神の上に現代の科学と知識と技術を習得してこそ、はじめて学問というものの光が出るのである」と述べています。

道徳教育研究会では知識と道徳が一体となった学問、教育のあり方を探求します。